

兄弟で**日本一**の**事業家**へ 大谷 米太郎・竹次郎



米太郎 **大谷重工業を創業** **ホテルニューオータニを開業** **故郷に多額の寄付**
 竹次郎 **太物電極の開発に成功** **昭和電極を発展させる** **故郷に多額の寄付**
 米太郎 1881 (明治14)年7月24日—1968 (昭和43)年5月19日 / 竹次郎 1895 (明治28)年4月27日—1971 (昭和46)年11月21日

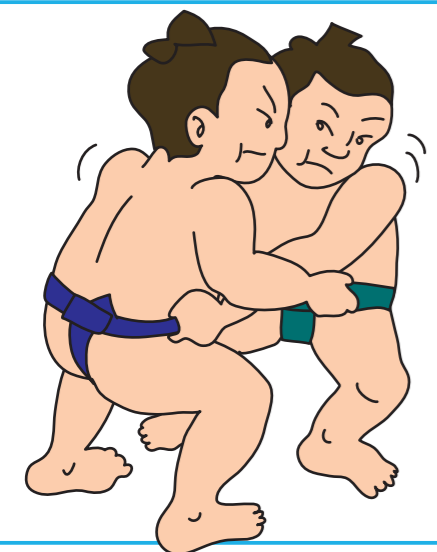
一生懸命働いて家計を助けた兄弟

砺波郡正得村（現小矢部市）の農家で米太郎は4人兄弟の長男、竹次郎は二男に生まれました。兄弟は家業の農作業を一生懸命手伝いながら勉強もがんばりました。兄の米太郎は13歳のときから働

きに出ました。夏は地主の家の農業を手伝い、冬には酒蔵で働いて家計を助けた。弟の竹次郎も小学校を卒業後、働きに出て、家計を助けた。



米太郎と竹次郎が生まれた家の跡。家屋は二人が出世してから建て替えられました。



将来に向けて勉強する

米太郎が24歳、竹次郎が10歳のときに父が亡くなり、米太郎が家を継ぎました。母親と3人の兄弟の暮らしを支えるため、米太郎は29歳のときに決心して、東京へ働きに出ました。商人を目指し、風呂屋・酒屋などの店で働き、商売で成功する方法を勉強しました。独立したいと考えていましたが、商売を始めるには元手のお金が必要

なので、なかなか踏み出せません。その後、体が大きかった米太郎は、「鷲尾嶽」というしこ名の力士になりました。竹次郎も16歳の春、兄を頼って上京し、酒屋で働き、そのうち、店を辞めて兄と同じ相撲部屋に入門しました。「金ヶ崎」のしこ名で相撲をとりましたが、体が小さいのでなかなか昇進はできませんでした。

兄弟で力を合わせて

米太郎は相撲の巡業で全国をまわる機会が多く、けいこの合間に工場を訪ねて経済の勉強をしました。特に北海道の室蘭では、製鉄工場を視察し、鉄の産業は将来発展すると確信しました。

大相撲では幕下の最上位まで上がりましたが、左手中指を骨折したので、あっさり引退して酒屋を始めました。商売のコツを覚えたせいか、本場所が開かれる旧両国国技

館へ一手に酒を納めることができました。開店から3年で支店が4店できるほど繁盛しました。

米太郎は酒屋でもうけたお金を元手にして1915（大正4）年、東京の深川で鉄を削る下請け工場をつくり、弟の竹次郎を呼び寄せ一緒に工場で働きました。竹次郎は働きながら夜間の学校へ通い、簿記や経理の勉強をして将来の独立に備えました。



竹次郎 (昭和初期)

さまざまな分野で活躍

米太郎は次にロール（鉄を加熱し、鉄製品にするために使う円筒形状の鋳造品）を製造する工場をつくりました。竹次郎は工場の仕事を手伝いながら、工場近くで酒屋を開店しましたが、関東大震災で工場も酒屋も焼けてしまいます。

しかし兄弟が力を合わせて工場は再建され、鉄鋼製品の製造でたくさんの利益を上げました。さらに1939（昭和14）年に「大谷製鉄」を設立し、翌年には子会社と合併して「大谷重工業」という大きな会社にしました。米太郎は「鉄鋼王」とまで呼ばれ、多くの倒産寸前の会社を立て直しました。

米太郎は東京オリンピックが開かれた1964（昭和39）年、外国人用ホテルが不足しているからとの国の要請により、ホテルニューオータニを開業し、「ホテル王」とも呼ばれています。また、流通業の一大拠点として、東京卸売りセンター（現TOCビル）を創設しました。

弟の竹次郎は1947（昭和22）年に昭和電極（現SECカーボン）の社長に就任し、1962（昭和37）年、電極の直径が大きい「太物電極」の開発と国産化に成功しました。大型の電気炉を作るために欠かせない電極で、当時はノーベル賞級の価値があるとされました。



ホテルニューオータニの前に立つ米太郎



大谷製鋼所の工場を視察のために訪れた竹次郎



米太郎と竹次郎の銅像（小矢部市水落）

夢や志をかなえたポイント

- 兄弟で助け合う
- 忙しくても勉強は忘れない
- 貯金を故郷の発展のために使う

1881 (明治14)	0歳
1881 (明治14)年7月24日	誕生
1915 (大正4)	34歳
1915 (大正4)年	東京ロール製作所を開業
1939 (昭和14)	58歳
1939 (昭和14)年	兄弟で大谷製鉄を設立
1962 (昭和37)	81歳
1962 (昭和37)年	大谷技術短期大学を設立
1964 (昭和39)	83歳
1964 (昭和39)年	ホテルニューオータニを建設
1968 (昭和43)	86歳
1968 (昭和43)年	亡くなる
1895 (明治28)	0歳
1895 (明治28)年4月27日	誕生
1947 (昭和22)	52歳
1947 (昭和22)年	昭和電極の社長に就任
1962 (昭和37)	67歳
1962 (昭和37)年	太物電極の開発と国産化に成功
1971 (昭和46)	76歳
1971 (昭和46)年	亡くなる

コラム 故郷のために建設資金などを寄付

米太郎と竹次郎は蓄えた財産を故郷へ寄付し、感謝の気持ちを表しています。

二人は自分たちが少年時代に苦勞したため、特に教育関係に力を入れ、石動・大谷小学校の校舎の建設や大谷技術短期大学（現富山県立大学）の設立、小矢部市庁舎の建設、大谷会館（現小矢部市ふるさと博物館）などに多額の寄付をしました。1962（昭和37）年には兄弟そろって小矢部市名誉市民になっています。



米太郎の寄付で小矢部市庁舎が建設されました。



竹次郎の寄付で大谷小学校が建設されました。

豆知識 ホテルニューオータニは東京都千代田区紀尾井町にある高級ホテルです。開業当時は17階建ての最高層ビルでした。高岡市にはグループホテルのホテルニューオータニ高岡、黒部市には宇奈月ニューオータニホテルがあります。

豆知識 SECカーボンは京都府福知山市にある製鉄のための電極を作る会社です。また、竹次郎が発展させた大谷製鉄は射水市にあり、電気炉による製鉄製品を製造しています。